



コートとり当番担当クラブ

3月	4月分のコート	美住B
4月	5月分のコート	恩多B
5月	6月分のコート	

発行責任者 柳 利夫  
 住所 東村山市萩山町  
 5-6-26-301  
 Tel. 0423-92-8808  
 編集責任者 山村英明

## “クラブチャンピオン”はあなた! 市民テ部内トーナメント

4月12日から市内春季大会が開催されますが、これに先立ち市民テ部内トーナメントを次のとおり行います。奮って参加して下さい。

日時 3月15日(日) 8時から  
 場所 久米川コート  
 種目 男子ダブルス A, B  
 女子ダブルス A, B  
 壮年ダブルス



\* AとはNO.4, 5コート, BとはNO.1, 2, 3コートの練習者とします。

申込み コートのポスターに記名して申込み下さい。なお、ペアでの申込みを原則としますが、パートナーの見つからない人は1人での申込みも可です。申込みメ切は、3月14日です。

その他 当日は全コートともトーナメントに使用するため、定期練習はありませんので、できるだけ多くの方が参加して下さい。ただし、ジュニア練習だけは行います。(担当・技術部 長井 92-8185)

## < 春季市民庭球大会申し込み要項 >

今春も恒例の春季市民庭球大会が、次の日程で予定されています。詳しくは3月1日号の市報を参照して下さい。

- 4月12日(日) 男子ダブルス(A)(中級以上)
- 4月19日(日) 男子ダブルス(B)(初級)
- 4月26日(日) 女子ダブルス(A)(中級以上), (B)(初級)
- 4月29日(日) 壮年ダブルス

この期間中は定期練習ができませんので、できるだけ多くの方が参加するようにして下さい。参加するに当たっては、できるだけ自分達でペアを作って下さい。参加したいが相手が見つからない場合も、所定の申し込み様式にそって申し込んで下さい。技術部を中心にペアを作ってみたいと思います。

申込み方法 3月14日(土), 15日(日), 21日(祝), 22日(日)の4日間、定期練習会場にて受付けます。受付けにある所定のカードに必要事項を記入のうえ参加費を添えて係に提出して下さい。今年からは、期日迄に間に合わなかった場合や参加費後払いは受け付けませんので注意して下さい。

## 3月21(祝)・22(日)・29(日)は午前、28(日)は午後の定期練習は運動公園コート5面です

3月16日から3月末まで久米川コート堀り直しです。4月から久米川コートが使えらる予定ですが、工事の進み具合によりますので、3月末の時点で、コートでお知らせします。

## 市民テ協議会第9回定期総会報告

2月8日(日) 2時20分より恩多自治会館にて、太田芳郎名誉会長を迎え約50名の出席で第9回定期総会が開かれた。今次総会は審議を効率的に進め、後半自由な意見開陳の場も設けたことが特色となった。今後、生かされる様期待したい。

総会の初めに、太田先生からコミュニティーの見直し、人と人との交流の大切さが指摘され、テニスを通じて地域住民の融和を創るうえで市民テの活動は全国的にみても貴重であると強調され、励ましのご挨拶をいただいた。次いで議長に松井貞二(恩多)、儀尚進(青葉)の両氏を選んで議事がすすめられた(会員数388名、うち休部38名)

柳会長の一般報告は、昨年たてた課題がおおむね達成できたこと、但し5面のコートに200名のひしめき合いをコートの平等使用と合わせてどう打開するか一層の工夫を要すること、会員の1/3位が家族で占められスポーツ都市にふさわしい存在であること、それだけに皆が楽しみ上達できるあり方を大切にしたいこと、来年の創立10年目をめざしていっそう充実した内容にしたい旨、抱負がのべられた。

80(昭55)年度の各専門部の活動報告は次のとおり。

### << 技術部報告 >>

#### 1. 定期練習

① 技術部員の努力でどのクラスもますます定期的に通りの練習ができたが、クラス分けが十分でなく皆さんに迷惑をかけることになった。

② 練習の内容について、初心者クラス以外は、系統的に練習内容を組むことができなかった。これは技術部会や研修会が思うように用けなかったことに大きな原因があると思われる。

③ ホール出し機を買ったが、十分に利用することができなかった。これは一面の利用者が多く機械では効率良く行かないことに原因がある。

#### 2. 外部指導者によるレッスン

2回(一回は本井満氏、一回は齋前氏)聞くことができ、参加者から好評であった。受付期間にゆとりがなかったことや先着順などに問題があるとの指摘があった。

#### 3. ジュニア

① ほぼ予定通り実施できた。小学生が相対的に熱心で、中学生がやや気ままであった。

② 技術練習のみで、ジュニアクラブのクラブ造りができなかった。これは技術部だけに課せられた問題ではなく、全体で考えて行く必要のある問題である。

### << 広報部報告 >>

1. '80年3月~'81年2月の間に延40頁、前年度と同じ頁数でほぼ定期発行ができた。なお80年3月号~6月号(外注)は印刷不良で迷惑をおかけした。

発行	2頁建	6回	私ビズ	自己紹介	その他	役員	計
4頁建	5回	記	男	4	13	12	24
8頁建	1回	事	女	7	11	17	35
延計	40頁	計	計	11	24	29	24
							88

# 私とテニス<連載40> 思多クラブ 山本 豊

私がテニスを始めてから、はや6年が過ぎてしまった。48年に転勤によって、職場が東村山から日本橋に移ったため、毎日運動をしていたのが、ラッシュアワーの人波の中で無駄な抵抗をすることが唯一の運動となるような状態になってしまい、そんな状態が2年位続いた。新しい仕事にも慣れ、通勤ラッシュも苦にならなくなった50年の年明け早々、ひよんなことから市民テニに入れてもらい(というより紛れ込んで)テニスを始める様になった。実はその頃の私にとっては、テニスがやりたかったのではなく、運動であれば何でもよかったのだが、たまたま家の近くにテニスコートがあり、一人でふらりと行ってやらせてもらえそうだったというのが実情だった。

さて、こうして何とはなく始めたテニスではあったが、運動に飢えていたこと、生来のスポーツ好きが相まって、たちまち、いっばしのテニキチが出来上がってしまった。それから、休みの日にはラケットをかかえてウロウロし、そうでないときは指導書を読みあさり、ローズウォールや渡辺功の分解写真を穴の開くほど見つめ、何やらわけのわからないことをつぶやき、時には腕を振り回してフスマに風穴を開けたりもした(テニス性魂不在症、妄想型。治療法:この病氣は馬鹿しか罹らないので附ける業強し)。

こうした努力がみのって、最初の3年位は腕前も順調に上がっていったようだ。しかし、4年目に入ると、いわゆる「壁」に突き当たったという感じで、もう一つ伸びが止まって来たようだった。今までに色々なスポーツをやったが、程度の差こそあれ、必ず一度は壁に突き当たるらしい。しかし、今までは何時も猛練習で壁を突き破って来たつもりだ。今度の場合は、今までと違って、時間も無いし、だんだん年を取って、肉体的にも衰えが見えはじめるので、壁を突き破るところか、逆にはね返されてしまっている。壁に突き当たってから3年近くになるが、最近では増々はね返りが強くなってきた感じである。

このところ、少しあせり気味なので、今年からは気長にテニスを楽しむつもりである。壁の向こうのパラダイスを夢見るために、今夜も一杯やって、そろそろ寝るとしよう。

## 2. 改善された点

- ①記事作成に多くの方の協力を得られたこと(延約90名、昨年40名)、役員の記事作成負担がやや軽減されたこと、特に女性会員の協力が注目される。また「私とテニス」も早い時期に送稿していただいたこともよかった。
- ②紙面の改善では、自己紹介欄の新設(NO.39より)、消息や便り、インタビュー記事の登場、意見や投稿も数通寄せられた。コートとり分担表も会の活動を支えた。
- ③「ガット」編集・作製が「集団的作業」として着しく改善された。4回の編集会議、5名の部員が原稿依頼、原稿作製を分担し合い、負担の分散化に前進をみた。多彩な紙面作りなど、昨年初めて広報部員となった3名の方の活躍は特筆に値する。

## 3. 改善を要する点

- ①投票箱やジュニア会員の活用、海外関係の紙面への反映、軽雑に役立つ紙面の工夫、運営委員会(幹事会)との連携に内題を残している
- ②「ガット」印刷の負担の軽減。当初「外注」にしたがうまく行かず、柳会長のコネと負担に依存している。

## <<会計部>>

別表のように収支決算の詳細を報告と共に、米田寛氏より適正なりとの監査報告があり、以上を含めて承認された。81年度事業計画及び新役員は次の通り承認された。

## <<技術部>>

1. 定期練習
  - ①クラス分けをはっきりさせる。
  - ②練習内容の充実をはかる。
  - ③試合も練習の一環として位置付けることを検討する。(初級・中級)
2. 外部指導者によるレッスン
  - ①年3回を予定する。
  - ②計画を早目にガットにのせる。
  - ③費用は今迄通り一部受講者負担とする。
3. 対外試合
  - 可能な限り試合を掲示する。特に中級者はできる限り参加することを期待する。
4. ジュニア
  - ①技術面では、グランドストローク、サーブ、ボレー、スマッシュの基礎を学べるよう配慮する。
  - ②昨年からの入会の者は12月頃に試合を行なう。
  - ③ジュニア全体の有り方や、練習時間帯、コート数などは幹事会で検討する。
5. 技術部研修会
  - 月2度行なう。ここでは、定期練習の内容を把握し、指導の一貫性について研修すると同時に技術部員の技術向上を目指す。



東村山テニスクラブ協議会  
0-222-55 東村山一丁目  
0-222-56 東村山一丁目

	昭和55年度		昭和56年度
	予算額	決算額	予算額
1. 前期繰越金	515,257	515,257	565,776
2. 会費	2,320,000	2,267,600	2,700,000
3. 雑収入	60,000	161,173	150,000
4. 収入合計	2,895,257	2,943,927	3,415,776
5. コート代	700,000	666,420	1,205,000
6. ボール代	350,000	387,700	460,000
7. 器具購入費	530,000	457,700	260,000
8. 器具購入準備金	-	-	500,000
9. 借入金返済	57,000	67,000	60,000
10. 会費控	60,000	16,701	100,000
11. 保険料	250,000	162,480	230,000
12. 経理向上費	270,000	171,610	350,000
13. 経理費	140,000	150,670	200,000
14. 事務用品	123,257	105,700	150,776
15. 海外費	50,000	60,000	50,000
16. 広報費	250,000	10,000	300,000
17. 予備費	100,000	300	300,000
18. 支払金計	2,875,257	2,320,076	4,015,776
19. 次期繰越金			565,776

コート内での  
幼児の安全に  
みんなで配慮  
しましょう

コート代値上げ  
見込

5ター(大型)  
ハンドコート  
PTR

各クラブ1万円ずつ  
多分スクール×2  
本スクール

1万円借付金  
4万円  
↑年間赤字準備金

## <<広報部>>

1. 「ガット」は2頁建を基本とし、必要に応じて増頁する。
2. 前掲の改善を要する共に、引続きとりにくむ。
3. 印刷の「外注」も引続き検討する。また、「ガット」各号の作製をクラブ持ちまわりとする体制づくりを検討する。

## <<会計部>> --- 別表のとおり

- 新役員つぎのとおり
- |           |            |           |
|-----------|------------|-----------|
| 名誉会長 太田芳郎 | 事務局長 笹野洋之  | (副) 儀間 進  |
| 会長 柳 利夫   | 技術部長 武谷直也  | (副) 長井 庸二 |
| 相談役 瀧川親俊  | 広報部長 川村 英明 | (代) 佐藤 善男 |
| ク 阿部川真夫   | 会計部長 笹野洋之  | (代) 栗原千枝子 |
|           | 会計監査 早川 洋一 |           |

各クラブ役員の紹介は 次号に掲載します